

授業科目名 <英訳>		医療統計学実習 Introduction to Statistical Computing and Data Management		担当者所属・職名・氏名		医学研究科 教授 佐藤 俊哉					
配当年	専門職	単位数	2	開講年度・開講期	2016・前期	曜時限	火3,4	授業形態	実習	使用言語	日本語

[授業の概要・目的]

医療統計学実習では、医療統計学講義で学んだ医療統計の考え方を実際に目で見て、体験することを目的とします。医療統計学の理解を深めるためにはお勧めの実習です。統計ソフトJMPによる簡単な集計、解析、プログラミングを実習します。実習のレポートはワープロソフトWordで作成してもらいます。図表などは表計算ソフトExcelを使って作成します。プレゼンテーションはプレゼンテーションソフトPowerPointを用いて行います。これらのソフトの使い方も学びます。

統計ソフトJMPは京都大学でライセンス契約しています。医学研究科の学生さんは医学研究科ホームページの、

<http://www.med.kyoto-u.ac.jp/software/JMP/>

から「JMP利用申請書」をダウンロードして、内容をよく読み、実習で使用するノートパソコンにJMPをダウンロード・インストールしてください。そして医学部情報担当に利用申請をして、ライセンスファイルを入手して、ライセンスの更新をし、JMPを使える準備をして実習に参加してください。みなさんの個人のパソコンにもインストールできますので、ノートパソコンなどにインストールして実習に持ってきてください。

[到達目標]

- ・ワープロを使ってすばらしいレポートを書く
- ・表計算ソフトを使って集計し、すばらしい図表を作成する
- ・プレゼンテーションソフトを使ってすばらしい発表をする
- ・統計ソフトを使ってすばらしい集計と簡単な統計計算を行う

[授業計画と内容]

第1回	4月12日	イントロダクション、表計算ソフトを使う
第2回	4月19日	統計ソフトJMPを使う
第3回	4月26日	グループ実習1: テーマ選択・データ収集
	5月3日	憲法記念日
第4回	5月10日	グループ実習2: データ収集
第5回	5月17日	グループ実習3: 集計、解析
第6回	5月24日	グループ実習4: プレゼンテーション
第7回	5月31日	ランダムにわけてみよう
第8回	6月7日	リスク比、リスク差、オッズ比の不思議
第9回	6月14日	割合の差の検定と帰無仮説のほんとうの意味
第10回	6月21日	「95%信頼区間は95%の確率で真の値を含む」わけではない
第11回	6月28日	2×2表を解析する
第12回	7月5日	サンプルサイズを計算していかに多くの対象者が必要かをしる
	7月12日	休講
第13回	7月19日	ランダムサンプリングしてみる
第14回	9月13日	発表会1
第15回	9月14日	発表会2

----- 医療統計学実習(2)へ続く ↓↓↓ -----

医療統計学実習(2)

[履修要件]

- ・ 演習室のスペースが32名までですので、社会健康医学系専攻の履修者を優先します
- ・ 人間健康科学系専攻の学生さんの受け入れはしていません
- ・ 医科学修士、医学博士課程の受講希望者は事前に連絡してください
- ・ レポートを書いたことのない人は、レポートの書き方に関する書籍などを読んでおいてください

注 この実習は9月に発表があります

[成績評価の方法・観点及び達成度]

- レポートとプレゼンテーション
- ・ 毎回レポートを提出してもらいます
 - ・ 班ごとのプレゼンテーション
 - ・ 個人ごとのプレゼンテーション (9月)

[教科書]

必須ソフト： JMP
毎回「実習の手引き」を配布します

[参考書等]

(参考書)

[授業外学習(予習・復習)等]

毎回レポート提出があります

(その他(オフィスアワー等))

- ・ 医療統計学実習を履修していないと後期「解析計画実習」は履修できません。
- ・ 毎年スペース以上の履修希望者がいます。例年、2~3名が途中から「参加できなくなった」といつてくるので、参加できなくなる可能性のある人は受講を遠慮してください。
- ・ 途中からの参加は認めません、必ず初回から出席してください。

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。